



AUDI RS5 & AUDI S4 AVANT

QUATTRO DRIVIN'

ノリノリのアウディクルージング

オーナー >> FUJII サン =RS5、toshiS4 サン =S4 アバント
 コンタクト >> メイクオーバー (Make Over) [045]620-0887 www.make-over.jp



AUDI RS5 & AUDI S4 AVANT

AUDIとVWをダイダイ取め立てる



純正カーボントリムが多用されるRS5のインテリアだけど、メーターパネルだけは純正カーボンパーツの設定がない。そこでバランスイットチューニングのカーボンパネルの出番だ。

ホイールはロティフォームの鍛造3ピースOZT 20インチ。ゼロリップと呼ばれる、オーバーヘッドマウントされたディスクがホイールリムより飛び出したデザインだ。

アウディのスペシャリストであるメイクオーバーが、自社のプロモーション動画を撮影するためにピックアップしたのがRS5とS4アバント。レッドのボディが激しく鮮やかで、どちらもチューニングによってハイパワー仕様となっている。エキゾーストも、RS5がHMSチューニング製、S4アバントがAPR製に交換されているので、動画では気持ちよい炸裂音を出してくれている。



早朝、横浜のメイクオーバーに集合。プロモーション動画の撮影に出掛ける！

動画を見てみよう！

PHONE やスマホのQRコードリーダーアプリなどを使って、QRコードから動画サイトに直接アクセス



↑ FORGED PRESS Footage
 [動画]はこのQRコードから



こちらのロティフォームは鍛造モノブロックCCV 20インチ。流行りのタービンデザインで、キャストらしからぬ高い質感がポイント。



ステアリングをカスタム。カーボンのグリップとレッドレザーのコンビネーションとした。

■アウディ RS5 モディフィケーション

ホイール>>ロティフォーム OZT F:20 × 10.5 R:20 × 10.5 フィニッシュ:ブラッシュドティントディスク+マットシルバークリム
 タイヤ>>コンチネンタル・コンチスポートコンタクト 5P F:295 / 25R20 R:295 / 25R20
 サスペンション>>KW DDC ECU 車高調
 エキゾースト>>HMS キャタバックエキゾースト
 エクステリア>>バランスイットチューニング・カーボンフリップスポイラー／カーボンディフューザー／リアカナード／カーボントランクスポイラー
 インテリア>>バランスイットチューニング・カーボンメーターパネル



止まっている姿に強烈な華やかさを感じるRS5。エキゾーストにはHMSチューニング製を組んでいるから走り出したらちょいワル爆音クン。

AUDI RS5 & AUDI S4 AVANT

OUTSTANDING STYLIN'

個性的 US ホイールをバチッと履きこなす

■アウディ S4 アバント モディフィケーション

ホイール>>ロティフォーム・モノブロック CCV F:20 × 10.0 R:20 × 10.0 Finish:ブラック/マシニング&ティント
 タイヤ>>ハンコック・ヴェンタス V12 エヴォ F:255/30R20 R:255/30R20
 サスペンション>>ACC エアランナーエアサスペンション
 ブレーキ>>F:ストップテック・トロフィーキット 6ピストンキャリパー+380mm ローター R:バランスイットチューニング・ビッグローターキット
 エンジン>>APR ステージ2 ECU プログラミング／カーボンエアインテーク
 エキゾースト>>APR キャタバックエキゾースト
 エクステリア>>バランスイットチューニング・カーボンフリップスポイラー／カーボンSスカート／カーボンリアディフューザー、スーリー>>ルーフラック
 インテリア>>カスタムカーボン&レッドレザーステアリング、カスタムレッドレザードアパネル



S4 アバントはいかにもボード系の遊びに出掛けそうなルックス。ルーフラックはスーリー製をボディ同色にペイント。

AUDI RS5 & AUDI S4 AVANT

AUDIとVWをダイダイ攻め立てる



カーボントランクスポイラーもバランスイット製。RS 5の昇降式トランクスポイラーの空力性能を高める。



RS5用バランスイットでポイントとなるのがリアサイドカナード。小さいパーツだけれどこれがあるとないのでは全然違う。

車高調にはKW DDC ECUを組んでいる。車内から減衰力を3段階で選べる。ショック本体での減衰力調整も1ウェイまでできるので、なかなか便利。



アウディってノーマルで乗っているとちょっとスカした感じがするけれど、例えば赤いボディカラーなんかを選び、USブランドのイマっぽいホイールを履かせちゃうと完璧イメチェン。ライフスタイルすら感じさせるようになってっちゃうから不思議だ。

で、この2台のアウディ、RS5とS4アバントも、走る姿からそんなノリが伝わってくる。

RS5に乗るFUJIIサンは、20代でRS5をブツ転がしちゃうヤングエグゼクティブ。ホイールは今履いているロティフォームOZTの20インチ3ピースで、鍛造2

セット目というからスゴい。

ロティフォームはUS鍛造ホイールブランドの中でも奇抜なデザインで人気を集めているが、FUJIIサンのホイールも“ゼロリプ”なんて愛称が付けられた、リムよりディスクが飛び出したタイプ。ちょっとエグ味があるけど、ノーマルではスカし系のRS5これを履かせちゃうと、断然ワイルドな感じになるからオモシロい。ドイツ・HMS製のエキゾーストを組んだV8サウンドも「パロロン」とか、ちょっと素行悪そうな音を出しているし(注・オーナーはヤングエグゼクティブです)。

一方、ToshiS4サンとS4アバントは、完全ウエストコーストのボード乗り系。クルマはオシャレじゃなきゃ意味がないという雰囲気も明らかだ。ホイールはこちらもUSスポーツ小僧からの支持が熱いロティフォーム。ホイールを見ると質感が高く鍛造に見えるけど、実はキャストモノブロックのCCVの20インチ。鍛造ホイールの半分の価格でこの質感を得られる。

サイズを聞いたら、前後ともリム幅は10.0とこのことで、一般にフロントリム幅9.5が限界と言われるS4としては、かなりの攻め

攻めっぶり。

またサスはACCのエアランナーエアサスを入れたウゴキモノだし、エンジンにはAPRステージ2、ECUとエアインテーク、キャタバックマフラーを組んでMAX390ps仕様のハシリモノになっちゃっているから、雰囲気だけじゃなくて、リアルスポーツウゴンモード。

正直、アウディって、SでもRSでもノーマルで乗ったら安定して速くて快適でオモシロさにちょっと欠けるから、この2台みたいにモディファイ&チューニングで楽しみたくなるんだネ。



V6 S/C 333ps エンジンにはUS APRのステージ2チューニングで390ps仕様にパワーアップ。乗ってみると速さは劇的に違う。



キャタバックからのエキゾーストもAPR製に交換。もともとサイズなS4サウンドがより高音になる。

ToshiS4サンのオーリー(ジャンプ)。助走距離はほとんどないのにこれだけの高さを飛ぶ。ToshiS4サンは、スケボーで飛べるところがあればどこでも飛んじゃうんだとか。

